

新規事業採択時評価結果（令和5年度新規事業化箇所）

担当課：道路局 国道・技術課
担当課長名：長谷川 朋弘

事業の概要

| | | | | | |
|-----------|--|-------|------------|------|------------------|
| 事業名 | 一般国道9号（山陰自動車道） 益田道路（久城～高津） | 事業区分 | 一般国道 | 事業主体 | 国土交通省 中国地方整備局 |
| 起終点 | 自：島根県益田市久城町 至：島根県益田市高津 | 延長 | 2.8km | | |
| 事業概要 | 一般国道9号は、京都府京都市から島根県益田市を経由し、山口県下関市に至る約751kmの主要幹線道路である。 益田道路（久城～高津）は、益田市久城町から益田市高津に至る延長2.8kmの自動車専用道路である。 | | | | |
| 事業の目的、必要性 | 益田道路（久城～高津）は、災害等による通行止め時に対して信頼性の高い道路ネットワークの確保、高次救急医療機関への速達性や円滑性の向上、主要な産業拠点間のアクセス性向上により効率的な物流を支援するとともに、益田市と周辺地域の観光交流の活性化に寄与するものである。 | | | | |
| 全体事業費 | 約260億円 | 計画交通量 | 約11,800台/日 | | |
| 事業概要図 | | | | | |

関係する地方公共団体等の意見

【島根県知事】
一般国道9号（山陰自動車道）「益田道路（久城～高津）」事業の予算化について同意いたします。
島根県では、希望と活力に満ちた新時代「人口減少に打ち勝ち、笑顔で暮らせる島根」を目指して島根創生に全力で取り組んでおり、その実現は、全県的な活力と経済発展に欠くことのできない重要な社会基盤である山陰道の整備を前提としております。
益田道路（久城～高津間）は、高津川と益田川に挟まれた浸水想定区域にあるため、洪水時に緊急輸送道路ネットワークの途絶が発生することや、益田市街地における交通混雑により物流の効率性が阻害されていることなどの課題があり、当該区間のミッシングリンクの解消が不可欠です。
島根県としては、地元益田市と連携し、事業推進に向けた地元協力体制の構築や関係機関調整に協力し、事業の円滑な推進に向けた環境整備に努めてまいります。
また、益田市においては、当該道路隣接地に防災公園を整備することとしており、県としては、益田市と連携してこの公園へのアクセス向上に寄与する県道益田港線を土地区画整理事業と連携して整備し、国・県・市が一体となった地域防災力の強化に協力してまいります。
その他、市中心部における賑わいの場として、高架下空間の有効活用を益田市において検討していくこととされており、県としても協力してまいります。
つきましては、一般国道9号（山陰自動車道）「益田道路（久城～高津）」の早期整備をお願いいたします。

学識経験者等の第三者委員会の意見

・新規事業化については妥当である。

事業採択の前提条件

費用便益：便益が費用を上回っている。
手続き等：都市計画決定（H10.3）、都市計画変更（H15.9）

事業評価結果

| | | | | | |
|--------|-------------|--|--|---|----------|
| 費用便益分析 | B/C | 1.3 (1.1) | 総費用：8,469億円 （事業費：7,685億円 維持管理費：780億円 更新費：4.9億円） | 総便益：10,996億円 （走行時間短縮便益：8,893億円 走行経費減少便益：1,668億円 交通事故減少便益：435億円） | 基準年：令和4年 |
| | 感度分析の結果 | 交通量変動 | B/C= 1.1 (交通量 -10%) | B/C= 1.5 (交通量 +10%) | |
| | | 事業費変動 | B/C= 1.3 (事業費 +10%) | B/C= 1.3 (事業費 -10%) | |
| | | 事業期間変動 | B/C= 1.3 (事業期間 +20%) | B/C= 1.3 (事業期間 -20%) | |
| 事業の影響 | 自動車や歩行者への影響 | 評価項目 | 評価 | 根拠 | |
| | | 渋滞対策 | ◎ | ・対象区間には主要渋滞箇所が存在し、朝・夕ピーク時には旅行速度の低下が発生。 ・当該区間の整備により交通が分散し、旅行速度低下の改善が見込まれる。 | |
| | | 事故対策 | ◎ | ・対象区間には死傷事故率が全国平均を上回る箇所が存在し死亡事故等が発生。 ・当該区間の整備により事故危険箇所の回避が可能。 | |
| | 歩行空間 | - | 注目すべき影響はない。 | | |
| | 社会全体への影響 | 住民生活 | ◎ | ・高次救急医療機関のない萩市東部や津和野町などの重篤患者の救急搬送は、隣接する益田市の二次救急医療機関に依存。 ・県道久城インター線を経由するルートが、主要な搬送ルートとなっているが、勾配が厳しく、信号交差点もあることから、緊急車両の速度調整が難しく、患者への負担が懸念。 ・当該区間の整備により救急医療活動を支援。高次救急医療機関への搬送30分圏域の拡大、救急搬送時の走行性の向上。 【医師会病院への30分カバー圏域】 現況：2% → 整備後：7% (+5%) 【救急搬送時に通過する勾配の厳しい延長】 現況：370m → 整備後：0m | |
| | | 地域経済 | ◎ | ・三隅発電所は2号機の稼働により、中国地方の電力需要の約3割相当を発電する計画。再生可能エネルギーの普及・拡大のため石炭に加え年間約3万トンの木質チップを燃料として使用。約8割を益田市から輸送。 ・主な輸送経路の、国道9号や国道191号には、主要渋滞箇所が存在し、速達性や定時性など輸送の効率化が課題。 ・当該区間の整備により物流効率化により地域産業を支援。主要な拠点施設間の移動時間を短縮。 【石見臨空ファクトリーパーク～三隅発電所の移動時間の短縮】 現況：約43分 → 整備後：約23分（約20分短縮） | |
| 災害 | | ◎ | ・国道9号及び国道191号は、緊急輸送道路に指定された、山口県東部と島根県西部を結ぶ重要な幹線道路。 ・当該区間は両路線の結節点となっているが、高津川及び益田川の洪水浸水想定区域に位置しており、災害発生時には緊急輸送道路が途絶。代替路がなく広域迂回を強いられる。 ・過去にも昭和58年豪雨災害においては、当該区間において約12時間の交通の途絶が発生。 ・当該区間の整備により信頼性の高い道路ネットワークを確保。災害による緊急輸送道路の途絶を回避し、広域迂回を解消。 【萩市役所～浜田市役所の広域迂回（災害時）】 現況：約197分 → 整備後：約102分（約95分短縮） | | |
| 環境 | - | 注目すべき影響はない。 | | | |
| 地域社会 | ◎ | ・萩・石見空港と出雲空港間は連絡性が悪く、観光ツアーの空白地となっている。 ・当該区間を含む山陰道の整備によりアクセス性が向上。地域の観光活性化を支援。 【萩・石見空港から出雲縁結び空港までの所要時間】 現況：約161分 → 整備後：約131分（約30分短縮） | | | |
| 事業実施環境 | ◎ | ・都市計画決定（H10.3）、都市計画変更（H15.9） ・島根県知事等より早期事業化を要望 | | | |

採択の理由

費用便益比が1.3と便益が費用を上回っているとともに、事業採択の前提条件が確認できる。
また、当該区間の整備により、交通の円滑化、交通安全の確保、高次救急医療機関への速達性・確実性の向上、地域経済活動の支援や観光振興の促進、災害等による通行止め時に機能する道路ネットワークの確保が期待でき、事業の必要性・効果は高いと判断できる。
以上より、本事業の新規事業化については妥当である。

※総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの
※B/Cの上段の値は浜田JCT～小月JCT（仮称）を対象とした場合、下段（ ）書きの値は事業化区間を対象にした場合の費用便益分析結果

新規事業採択時評価結果（令和5年度新規事業化箇所）

事業評価結果（防災機能）

| 事業の必要性 | | |
|---|--|--|
| 災害等による通行止め時に機能する道路ネットワークの確保や高次救急医療機関への速達性や確実性の向上、円滑な物流活動や観光周遊の支援に寄与するものである。 | | |
| 評価項目 | 地域の課題 | 関連する計画 |
| 救助活動等 | <ul style="list-style-type: none"> 当該区間は、河川の浸水想定区域を含む脆弱な区間が存在。 災害等による通行止め時には大幅な迂回を強いられるため、地域への緊急物資の円滑な輸送に支障となる恐れ。 | ※中国圏広域地方計画（H28.3） ・大規模地震災害に対し、圏域内の道路・橋りょうや港湾施設等の社会資本の耐震化を強力に進め、強靱な交通・物流ルートを形成する。 ※島根県国土強靱化計画（R4.3改訂） ・災害時における避難や救急活動および物資の輸送を確保するための緊急輸送道路の軸となる山陰道の整備を促進する。 |
| 住民生活 | <ul style="list-style-type: none"> 高次救急医療機関が存在しない萩市東部や津和野町などの重篤患者の救急搬送は、益田市の二次救急医療機関に依存しており、搬送時間の速達性及び円滑性の向上が必要。 | ※中国圏広域地方計画（H28.3） ・高次医療施設へのアクセス向上に資する道路の整備を図るとともに、ドクターヘリの導入による救急対応等、広域連携による医療機能の充実を図る。 |
| 地域経済 地域社会 | <ul style="list-style-type: none"> 中国地方の電力需要の約3割相当を発電する計画の三隅発電所では、再生可能エネルギーの普及・拡大のため石炭に加え年間約3万トンの木質チップを燃料として使用しており、約8割を益田市から輸送。主な輸送経路の国道9号や国道191号には主要渋滞箇所が存在し、速達性や定時性など輸送の効率化が課題。 | ※中国圏広域地方計画（H28.3） ・リスク分散等の戦略に基づく企業誘致を推進する。このため、リスク分散等の受け皿となる企業団地や、企業誘致戦略に基づく地域独自の優遇措置等投資環境を整備するとともに、企業誘致を促進させる山陰道、北条湯原道路、美作岡山道路といった高規格幹線道路等の幹線道路ネットワークや港湾等の交通基盤の整備を進める。 |
| その他 | | |

| 事業の有効性 | | | | | | | | | |
|--|------|-----------------------|-----------|------------------------------|------------------------------|--------------------|----------------|----------------|----|
| <ul style="list-style-type: none"> 当該事業の実施により、主要拠点間のリンクの評価はCランクのままであるものの、脆弱度の値が改善するとともに、不通リンクの解消によりネットワーク全体の防災機能が強化される。 また、本事業において、災害時にも機能する信頼性の高い道路ネットワークが形成されるとともに、救急医療活動や観光振興、地域産業の活性化に寄与するなど有効性の高い事業と評価する。 | | | | | | | | | |
| 道路ネットワークの 防災機能 | 主な区間 | | 改善ペア数 | 脆弱度 (防災機能ランク) | | 累積脆弱度の 変化量 | 改善度 | | 評価 |
| | | | | 整備前 | 整備後 | | 通常時 | 災害時 | |
| | 島根県庁 | 道の駅 津和野温泉 なごみの里 | 25 (6) | 0.92 〔C〕 〔0.41〕 〔C〕 | 0.35 〔C〕 〔0.41〕 〔C〕 | ▲204.14 (▲0.06) | 0.09 (0.00) | 0.72 (0.00) | ○ |

| 事業の効率性 | | | | | | | | | |
|---|--|--|--|--|--|--|--|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> 都市計画決定（H10.3）、都市計画変更（H15.9） | | | | | | | | | |

※道路ネットワークの防災機能の上段の値は、浜田JCT～小月JCT（仮称）を対象とした場合、下段（ ）書きの値は事業化区間を対象にした場合の防災機能評価結果。